

生涯をつうじて学ぶためには

スペースのゾーニング

PC, WiFi利用環境

ラーニングコモンズ

学級訪問対応可能な学習スペース

資料と近い場所にあるグループ学習スペース

参考事例

- ・子ども向けリーディングプログラム（米国の図書館）
- ・放送大学テキストコレクション（瀬戸内市民図書館）

知的活動をするためには

話してもいい空間

20人くらいで活動できる空間

多彩なイベントが開催可能なスペース

ラボ・スタジオ・印刷機

利用者の活動の見える化

演奏可能な空間

参考事例

- ・ウィキペディアタウン
- ・京都府立図書館クラウドファンディング×シラベル
- ・下北沢B&B
- ・奈良県立図書情報館
- ・紫波町図書館
- ・山梨県立図書館
- ・HOMAGO（米国ピッツバーグ、ボストン図書館）
- ・YOUMEDIA（米国シカゴ図書館）

より広く、専門的な情報を入手するためには

VPNサービス

専門家（機関）へのレフェラルサービス強化

区市町村立図書館から都立図書館へのつながり（区市町村立図書館員の研修・育成）

参考事例

- ・VPN接続サービス（明治大学図書館）

レファレンスをライブで体験することで、きちんとした情報の必要性を実感する機会があるといい。

ネット検索だけでなく、他にも調べ方があることを知らない

様々な活動、人々が出会い、ワークする場を提供

都立図書館を知らない

普段来ない人が行きたくなるようなイベントを。

「楽しさ」を感じない

レファレンスを知らない

レファレンス事例をSNSで発信・拡散。

電話、メールでも使えるということをアピール。

蔵書内容、簡単なレベルのものがあってもいい。個人貸出の是非も長期的な課題。

子連れでなければ行けない

館内での託児サービスがあるといい。

バーチャルでのサービスを充実

敷居が高いと感じる（蔵書構成・貸出不可・雰囲気等）

遠隔利用メニューが不足